

機能評価受審しました！

Vol.4



9月8日、9日と日本医療機能評価機構による審査を受けました。初日は7名、2日目は6名のサーベイヤーの皆さんと一緒に過ごしました。10年以上前に前職の病院で受審した経験はありましたが、久しぶりであること、そして、私自身が当院での経験が半年であることから、ドキドキの2日間でした。

ですが、嬉しいことや発見したことが沢山ありました。

以前、このさくらコラムでも紹介した倫理カンファレンスを褒めていただきました。忙しい中でも、「患者さん、そしてご家族にとって何が最善か？」と話し合うことはやはり意義深いと思います。

そして医師の記録の監査については、今回の審査で私自身も詳細を知りました。すべての医師の記録を監査し、その結果をきちんとフィードバックしていることは、自慢できることであると思います。

PSC（患者サポートセンター）やRRT(Rapid Response Team)の活動も褒めていただきました。サーベイヤーの方への熱いプレゼンも素晴らしかったです。自分たちの実践を伝えたい！という思いが私にも伝わりました。

緊張の2日間でしたが、この他にもお褒めの言葉をいただけたことがあり、これからの課題も見えて、意義深い時間を過ごすことができました。あとは結果を待つばかり…です。

2022年10月 看護局長 宮原晴子